

第20回徳島県老健大会に参加

グリーン丈六から4演題を発表



系でんわ

【発行所】
グリーン丈六
広報委員会
徳島市丈六町
山根51番地

ホテルクレメント徳島で開催

9月27日にホテルクレメント徳島にて第3回老人保健施設四国ブロック大会が開催され、当施設からは4つの演題が発表されました。看護部 根本、介護部 安田、給食部 片山・島、リハビリテーション部 矢和田が、この施設を利用される皆様に対し、よりよいサービスを提供するために実施した創意・工夫を報告しました。

大会のテーマは「ぞめきのリズム。四国老健よ、1つの理となれ！」でした。阿波踊りのようにぞめきのリズムに合わせて踊るように老健が「自立支援、在宅復帰、在宅支援」にむけて多職種で協働し、未来へ繋げる。という意味になります。

我々も右記テーマのもと、職員一同、在宅での生活という利用者様の希望を叶え、楽しい在宅生活を提供できるように試行錯誤していきます。

(リハビリテーション科

四宮 克真



↑老健大会で発表の様子（看護師：根本



↑老健大会で発表の様子（介護福祉士：安田



↑老健大会で発表の様子（調理師：片山・島



↑老健大会で発表の様子（理学療法士：矢和田

インドネシア候補者

12月16日(月)にインドネシア人介護福祉士候補者2名(ウィンドさん・ティカさん)がグリーン丈六に新しい仲間としてやっ

てきます。

当施設は8月にベトナム人介護福祉士候補者のフオンさんが来設して3ヶ月が経過しました。日本での

日常生活や日本語、利用者様の介護にも少しずつ慣れてきています。

インドネシアとベトナムでは国が違う事は然る事乍ら、当然言葉や生活習慣も異なるが故、施設の職員も12月の来設に向けて準備を進めております。

初めての国で一生懸命頑張ろうと日本に来ていただくのですから、我々も最大限の準備と心構えが必要であると思えます。末筆ながら皆様方にご案内申し上げ協力を賜りたい次第です。

(事務部 犬伏 卓也)



↑インドネシア人候補者



インフルエンザ対策

毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。インフルエンザは高熱や関節の痛みなどを伴い、特に幼児、妊娠中の女性、高齢者、持病のある方は重症化するおそれがあります。

では、インフルエンザはどのようにして感染するのでしょうか。インフルエンザの感染経路は2つあり、感染者の咳やくしゃみを別の人が口や鼻から吸い込んでしまう「飛沫感染」と感染者が咳やくしゃみを口で押しさえ、その手で周りの物に触れて、別の人がそれに触れることでウイルスが付着してしまう「接触感染」です。

インフルエンザを予防するには、石鹸をつけて流水で手を洗う、十分な睡眠とバランスの良い食事をとる、予防接種を受ける、適度な湿度を保つ、人混みへの外出を避ける事などが大切です。



(メデイカルサポート) 今津美紀

通所だより

暑かった夏も終わり、過ごしやすい秋になりました。今回の作品のテーマは「お月見」でした。以前はこの家庭でも中秋の名月にお団子を作ってススキを飾りお月見をしていました。

利用者様に伺ってみると、団子は米粉で「味は塩味だった」と言う方が多かったです。そしてススキですが、実はススキによく似た物が何種類もあるそうで、飾ろうと取ってきた物がどうやらススキではなかったらしく「これはススキではない」と指摘いただいた事は秘密です。

あと、中央に狸に座ってもらいました。話を聞いたところ半数の



↑通所リハビリの利用者作品

方が本物のタヌキを見た事があるそうで、化かされた事がある人まできました。そして彼岸化ですが、月中に柿に変わりました。こちらは「遠目には本物に見える」と評判が良かったです。

作り方は新聞紙を丸めて、お花紙でくるんで作りましたが、重みがあり展示後にボト・・・ボト・・・と下に落ちていました。「ようけ柿が熟しておちたな」「おいしそう」と多くの方が喜んでくれています。

(通所リハビリテーション)

網本 康恵

認知症カフェ

「認知症の人と家族の会直支部」が、徳島市のそごう徳島店8階に認知症や介護について気軽に語り合える「オレンジカフェそごう」を開設した。買い物ついでに立ち寄りやすい環境を整えることで、認知症への正しい理解を広げるとともに、当事者が街に出るきっかけをつくる事を目的としています。

10月3日のオープン初日は、徳島市医師会の認知症対策委員会長を務める「なごまつ在モクリニク」の笠松哲司院長が、訪れた

新人紹介



米田 佳世子 (准看護師)

分からない事はばかりで、迷惑をお掛けしますが、1日でも早く仕事に慣れるよう頑張ります。宜しくお願いします。

木村 美穂 (理学療法士)

新しい職場で皆さんと一緒に頑張れることを楽しみにしています。ご迷惑をおかけしますが、宜しくお願い致します。



↑徳島そごうのイメージ

(谷岡 龍一)

高齢者ら30人に認知症の高齢者が増えている現状などについて解説。「認知症になっても社会とのつながりを持つことが大切だ」と呼びかけられていました。次回は11月28日を予定しています。(リハビリテーション科)

ボーリング大会

10月2日にグリーン丈六と特別養護老人ホームライムの職員同士で交流イベントを実施しました。(事務部 犬伏 卓也)



↑EPA候補者のボーリング大会の様子

